

『宜野湾市史』 第八巻 資料編七 戰後資料編一

戰後初期の宜野湾（資料編）

目 次

口 絵	
発刊に際して	
宜野湾市教育委員会 教育長 普天間 朝光	
発刊によせて	
宜野湾市史編集委員会 委員長 仲村 元惟	
目 次	
凡 例	
第一部分 行政文書による戦後初期の宜野湾	
第一章 再定住	23
解題	23
第一節 沖縄・宜野湾の概況	23
一 沖縄民政府資料	36
第二部分 戰後初期の宜野湾	
第二章 軍作業	
解題	
第一節 労務状況	
一 年令別人口調査	192
二 労務異動状況	200
三 労務実態状況	192
211	180

二 宜野湾村概況	43
第二節 宜野湾村への転入	
一 人口動態（1946～1949）	52
二 引き揚げ資料	52
三 人口動態（1950～1953）	68
四 離島出身者調査	77
第三節 村民分散状況	89
第四節 基地と居住	145
一 軍用地調査資料	145
二 建築状況	151
三 暴風被害	154
四 “一マイル制限”	159
五 居住許可申請	166
六 普天間飛行場	167
七 撤去・立退き	173

四	その他の労務状況資料	227
第二節	軍作業	
一	カンパン住込者	229
二	軍作業員募集	246
三	生活状況調査	229
四	「戦果」	254
第三節	労務供出	251
一	労務供出	257
二	労務供出状況報告	257
第四節	一九五〇年以降	267
一	一九五〇年国勢調査	279
二	業態別戸数人口可働者調	279
三	字別産業状況、生産状況	289
第三章	地方自治	289
解題		290
第一節	戦後村政の始動	290
一	村政委員会の設置	290
第二節	市町村長及び議員の公選	301
一	軍政府布告、沖縄民政府資料	301
二	宜野湾村長選挙（1948年）	307
三	宜野湾村議会議員選挙（1948年）	309
		312

四	村議会の設置	315
五	沖縄群島知事選挙	319
六	沖縄群島議会議員選挙	324
七	宜野湾村長選挙（1950年）	325
八	宜野湾村議会議員選挙（1950年）	329
九	立法院議員選挙	332
第三節	天願事件	336
第四節	行政区域その他	336
一	野嵩区・普天間区	346
二	行政区域の設定	346
三	普天間二区の新設	349
四	村役所の建築	349
第四章	教育・文化	358
解題		358
第一節	教育の再開	352
一	初等学校の再開	362
二	実業高等学校の設立	362
三	6・3・3制度の実施	362
四	図書館設置申請	362
五	成人学校	362
六	その他育英制度	362
		398

第二節 戦災校舎の復興

第三章 飛行場の北

第三節 国旗掲揚運動・祖国復帰期成会

解説

575

第四節 生活改善

野嵩収容所での生活と軍作業

新垣政幸

577

第五節 文化

配給所に勤めて

平良春子

584

一 史跡の保存

野嵩の屋敷に戻れなくて

比嘉ふみ

588

二 普天間宮の復興

様々な軍作業を経験

松川貞雄

592

三 大衆文化

野嵩収容所のはじまり

松川吉信

601

第五章 保健衛生

解題

古波藏信重

607

第一節 衛生運動資料

群島政府畜産課に勤務

玉城トヨ

612

一 衛生運動

家事と育児と軍作業に追わされて

比嘉正行

616

二 マラリア

軍作業のために普天間に来て

仲村清一

620

第三節 性病防圧・オブリミツツ

安仁屋の開放を願つて

仲村武雄

623

附 章 村勢要覧

外國船から世界各地へ

新城信敏

626

第二部 証言からみる戦後の宜野湾

第一章 「野嵩収容所」概説

教員生活の傍らでの農作業

宮城武雄

633

水不足に悩まされて

島邦子

638

軍用地となつたチュンナーガーに通つて

呉屋信一

635

第二部 証言からみる戦後の宜野湾

第一章 「野嵩収容所」概説

人気のなかつた役場への就職

知念和夫

641

俸給の少ない教員を志して

知念清徳

644

幼い姉妹を抱えての生活

知念美代子

647

懐かしいモーピル油の天ぷら

當山静子

650

第二章 証言からみる戦後の宜野湾——全体解説

人気のなかつた役場への就職

島邦子

638

俸給の少ない教員を志して

知念和夫

641

幼い姉妹を抱えての生活

知念清徳

644

懐かしいモーピル油の天ぷら

知念美代子

647

ランドリーでの軍作業	當山富美	654
米軍基地として接收された我が家		
知恵を振り絞った戦後	伊佐幸一	
Babyと呼ばれて	伊佐興信	656
汗まみれ泥まみれの復興	浦井芳子	661
自治会長として支えた伊佐の戦後	呉屋幸亀	664
十四歳の少年避難民、家族との別れと再会	呉屋佐四郎	671
A J トラック運転手として	宮城善正	673
米兵と挙げた戦果	宮城正松	720
耕作中の不発弾処理	宮城豊吉	725
基地を前にしての生活	宮城智恵子	723
命懸けの畑仕事	松本幸繁	717
愛知での農作業	渡慶次賢興	711
	玉那禪祐正	707
	渡慶次絹子	713
解説	シーツで作った洋服	704
行けなかつた軍作業	家族のために一生懸命だった	
学校には行かず軍作業へ	玉那禪清仁	
野嵩ハイスクールに通つて	伊佐根千代	
A J トラック運転手として	仲宗根千代	
米兵と挙げた戦果	石川仁一	
耕作中の不発弾処理	比嘉俊子	
基地を前にしての生活	平安座唯正	
命懸けの畑仕事	天久勇吉	
愛知での農作業	崎間初子	
	解説	
行けなかつた軍作業	島袋全助	
学校には行かず軍作業へ	田里友喜	
野嵩ハイスクールに通つて	仲村春栄	
A J トラック運転手として	仲村春靜	
米兵と挙げた戦果	仲村春珍	
耕作中の不発弾処理	佐喜真慎徳	
基地を前にしての生活	宮城秀子	
命懸けの畑仕事	宮城ヨシ	
愛知での農作業	多和田良子	
	解説	
行けなかつた軍作業	我如古でのクリーニング業	
学校には行かず軍作業へ	米兵の侵入を恐れて	
野嵩ハイスクールに通つて	我如古から佐真下に戻つて	
A J トラック運転手として	トラック運転手と電気屋として	
米兵と挙げた戦果	山原と宜野湾での教員生活	
耕作中の不発弾処理	真栄原の治安維持のために	
基地を前にしての生活	青年会の結成と教員生活	
命懸けの畑仕事	真栄原の治安維持のために	
愛知での農作業	青年会の結成と教員生活	
	解説	
行けなかつた軍作業	島袋全助	
学校には行かず軍作業へ	田里友喜	
野嵩ハイスクールに通つて	仲村春栄	
A J トラック運転手として	仲村春靜	
米兵と挙げた戦果	仲村春珍	
耕作中の不発弾処理	佐喜真慎徳	
基地を前にしての生活	宮城秀子	
命懸けの畑仕事	宮城ヨシ	
愛知での農作業	多和田良子	

生活と勉学の両立	玉那禪清仁	704
家族のために一生懸命だった	玉那禪祐正	
シーツで作った洋服	渡慶次絹子	
家族のために	渡慶次賢興	
GMCに揺られて	松本幸繁	
普天間からふるさとに通つて	宮城仁政	
ユイマール精神	宮城智恵子	
難渉した土地調査	宮城豊吉	
高校に通いながら軍作業へ	宮城正松	
共働きの軍作業	米須清賢	
軍作業よりも農業	米須清行	
解説	解説	
行けなかつた軍作業	島袋全助	
学校には行かず軍作業へ	田里友喜	
野嵩ハイスクールに通つて	仲村春栄	
A J トラック運転手として	仲村春靜	
米兵と挙げた戦果	仲村春珍	
耕作中の不発弾処理	佐喜真慎徳	
基地を前にしての生活	宮城秀子	
命懸けの畑仕事	宮城ヨシ	
愛知での農作業	多和田良子	

親切してくれた米兵と軍作業 銘苅ハル.....
ドライバーとして様々な車を運転して

伊波盛傳.....
伊波みつ子.....

樂しみなP A Y D A Y
八歳の時に迎えた終戦と戦後 石川信一.....
生活を支えた花売り

仲本菊子.....
ためらいの中での軍作業 仲本正助.....
仲本正助.....

比嘉君子.....
仲村ハルエ.....
松門正一.....
宮里敏子.....
817 814

戦後の苦しい生活とハウスメイド
引き揚げと戦後の生活
キャンプブーンで軍作業を始めて

824 819
827

第六章 飛行場の西

解説.....
戦後の大山を見つめて

伊佐眞徳.....
「テークミー」とコザ高校に通学

伊佐徳次郎.....
テニアンでの経験を活かしたドライバー業

伊佐周光.....
区民総出で取り組んだ大山の再建

宮城徳義.....
大山小学校で教鞭をふるつて

宮里初子.....
区長として取り組んだ公民館建設

伊差川正哲.....
島袋キク.....
忘れられない看護

811 807

805 800

795

792

宜野湾・沖縄戦後史年表
ご協力いただいた方がた・協力機関
宜野湾市史編集委員会・戦後資料編専門委員・
宜野湾市史編集事務局
編集後記

827